

竹内街道・横大路「大道」1400年活性化プロジェクト通信（VOL.24）

夏祭りシーズン最高潮!!街道沿線 橿原市の祭りイベント紹介②

竹内街道・横大路「大道」沿線の自治体では、このシーズンたくさんのお祭りまだまだ開催されています。今回は、前回もご紹介した奈良県橿原市のお祭りを2つご紹介させていただきます。暑い夏、熱いお祭りはまだまだ続きます。歴史の魅力を感じに、橿原市を訪れませんか！？

● ほうらんや火祭(東坊城町 春日神社・八幡神社) 8月15日

昭和57年3月に県の無形民俗文化財に指定されたお祭りで、橿原市東坊城町内の5地区と隣接する古川町の6つの字から大小あわせて16個の大松明が神社に奉納されます。大きいもので直径1.5m、高さ3m、重さ450kgを超える松明に火をつけて担ぎ出し、神社の境内を担ぎ回る勇壮でにぎやかなお祭です。

数百年という歴史のあるお祭ですが、一度だけ行われなかったことがあり、その年に病が流行ったのでそれ以後はかかさず行っているということです。無病息災や虫送り、雨乞いの行事とも言われています。



【参考】http://www.city.kashihara.nara.jp/kankou/own_kankou/saijiki/8_houranyamatsuri.html

● 愛宕祭(橿原市八木町周辺) 8月23～25日

橿原市八木町で行われるお祭で、立山(造り山)や夜店が並び見物客を集めています。横大路と下ツ道との交差点である八木札の辻前にも多くの夜店が並びます。

町内周辺38ヶ所におのおの愛宕神社祠を祀り、町内あげて立山(造り山)をつくり出来栄を競い合います。立山(造り山)見学もこのお祭の醍醐味のひとつです。



【参考】http://www.city.kashihara.nara.jp/kankou/own_kankou/saijiki/8_atagomatsuri.html

夏祭りが終われば、次は秋祭り！歴史深い橿原市では、秋のお祭りも多数開催される予定です。

是非是非、奈良県橿原市へ足をお運びください。

竹内街道・横大路 難波から飛鳥へ日本最古の官道「大道」1400年活性化実行委員会

大阪府と奈良県を東西に結ぶ竹内街道・横大路(よこおおじ)は、「日本書紀」の推古天皇21年(613年)の条に「難波(なにわ)より京(飛鳥)に至る大道(おおじ)を置く」と記された「大道」のルートと重なることから、日本最古の官道と呼ばれています。

「大道」が敷設されてから、平成25年(2013年)に1400年の節目を迎えることを契機として、府県を越えて大道沿線の10市町村(大阪市・堺市・松原市・羽曳野市・太子町・葛城市・大和高田市・橿原市・桜井市・明日香村)と大阪府、奈良県の首長などが参集し、「竹内街道・横大路 難波から飛鳥へ日本最古の官道「大道」1400年活性化実行委員会」を発足して、連携しながら周辺地域の魅力を再発掘し、街道の魅力を高め、地域活性化等に繋げる取り組みを進めております。

文責：竹内街道・横大路(大道)1400年活性化実行委員会